

遊んで学ぼう！ゴミの分別 ～高校生による幼児の環境学習～



～ 高校生による幼児の環境学習について ～

ゴミをゴミ箱に捨てるのは当たり前なのに、なぜ分別を面倒と感じてしまうのでしょうか。ゴミを分別することを自然に当然のことのようにできるようになるには、どうしたらいいのでしょうか……。そこで考えたのが、「習慣化」。環境問題についての難しい知識を知っていてもゴミをポイ捨てしてしまう人よりは、何も知らなくても自然にゴミをきちんと捨てられる人の方が、環境にやさしい人と言えるでしょう。

そこで考えたのが、基本的生活習慣が身につく幼児期からの環境学習です。

幼児期からの環境学習は、環境先進国であるドイツですでに取り組みられています。幼児期から環境を守ることを教えてゆき、生涯学習としての環境学習を行うことで、リサイクルシステムの構築や、環境を守る法律の施行など、環境にやさしい都市を作ることに成功している地域もあるようです。「高校生による幼児期からの環境学習」は、すでに群馬県内の高校で行われており、幼児と共に、保護者や幼稚園、保育所の先生方にも環境への意識を高める成果を出しています。今回私たち自身も初めての取り組みなので、少し緊張していますが、みなさんと環境に目を向けることを少しでもやっていきたいと思っています。

1 活動の紹介

プログラム実施校	桐生高校 1 学年 4 組	40 名 (男子 26 名 女子 14 名)
プログラム対象者	桐生市立昭和幼稚園	4 ~ 5 歳児 18 名
プログラム実施期間	平成 15 年 9 月 22、10 月 6、20、27 日	
	計 4 日 (1 回 1 時間半)	

学習プログラムの内容

	テーマ	目標	ゲーム	形態
1	仲良くなろう！ 分別してみよう！	高校生と親しくなる。 ゴミの分別に挑戦する。	自由遊び ゴミ分別ゲーム	全体
2	ゴミの違いとリサイクルのしくみ	分別するゴミの違いを知る。 リサイクルでゴミが生まれ変わることを知る。	班別で教える ゴミ釣りゲーム 紙芝居	個別 班別
3	なぜ分別するの？	不燃ゴミを燃やす害を知る。 リサイクル等の言葉に慣れる。 分別の復習	パネルで説明 歌と踊り 旗揚げ いすとりゲーム	班別 全体
4	ものを大切にしよう！	ものを大切に使うことがゴミの減量につながることを知る。 最初と同じ方法で分別してみる。	劇と紙芝居 最初と同じ分別ゲーム	全体

学習プログラム実施の様子

第 1 回目

<p>テーマ 「高校生と仲良くなろう！」</p> <p>自由遊び</p> <p>レクリエーション</p> <p>分別劇「それいけ！アンパンマン」</p>
--

初めての訪問ということで、幼稚園の皆さんと仲良くなれるように、まず、自由遊びをしました。教室で折り紙をしたり、お遊戯室で積み木をしたり……。園児達は、とても楽しそうに、高校生と遊んでいました。その後、全員で、猛獣釣りゲーム、じゃんけん列車などのレクリエーションを行いました。最後に、高校生がつくったアンパンマンの劇を見ました。劇の中で、ゴミを分けて捨てなければならなくなってしまったあんパンマン達は、困って園児達に助けを求めます。すると、園児達は進んでゴミの分別をしてくれました。



第2回

テーマ 「ゴミの違いとリサイクルのしくみ」

自由遊び

班別でゴミの違いを教える

ゴミ釣りゲーム

紙芝居（リサイクルのしくみ）

2回目は、学校に残って準備する班と、幼稚園を訪問する班に分かれての実習でした。今回はまず、ゴミの種類をマンツーマンで勉強しました。その後、ゴミの分別がきちんとできるか、「ゴミ釣りゲーム」を行いました。これは、マグネットのついたゴミを、釣り竿で釣り上げるゲームです。園児3人と、高校生3人のグループを作り、グループ対抗で競いました。そして最後に「アンパンマンの紙芝居」を見ました。ゴミを分けることが、なぜ必要なのかを学ぶこの紙芝居を、園児達はおとなしく、そして真剣に聞いてくれました。



第3回

テーマ 「なぜ分別するの？」

自由遊び

パネル（ダイオキシンなどのゴミを燃やす害）

歌と踊り（「ぴかぴか星」）

旗揚げゲーム（分別の復習）

いすとりゲーム（分別の復習）

・自由遊び

3回目ともなると、高校生の私たちも、幼稚園のみんなも、大分慣れてきました。お互いすくなじめ、ブロック遊びや昆虫取り等一緒に楽しみました。

・歌と踊り（ぴかぴか星）

「リサイクル」という言葉に親しむために、歌と踊りを作りました。名付けて「ぴかぴか星」です。ごみのゆくえを教えるために、きらきら星の替え歌に振り付けをつけたものです。みんな真剣に覚えてくれて、全員で楽しく歌いながら、踊ることができました。

・ダイオキシンの説明

黒い煙がかかれたパネルを使って説明しました。桐生市では、リサイクルできないゴミ（燃えるゴミ）の中に、プラスチック系のビニル等



も捨てられていることから、「これらを燃やした場合に、鳥や人が苦しんだりする悪い物がでるんだよ。」という簡単な説明です。

・旗揚げゲーム

次に、ゴミを分別する理由を理解させるために、一通り説明し、例えば「燃やすとダイオキシンが出るゴミはどれかな？」と質問をし、「カン」「ペットボトル」「牛乳パック」等書かれた旗（札）のどれかあてはまるものを挙げてもらうというものです。正解を言うと拍手して喜ぶ園児達。予想以上の盛り上がりでした。

・椅子取りゲーム

リサイクルできるゴミがおかれた椅子の周りをぐるぐる回ります。例えば、ペットボトルからできる「洋服」の絵を挙げると、園児達はペットボトルの於いてある椅子に座ります。見事正解した子には、ポケモンやハム太郎のキャラクターが書かれている手作りメダルをプレゼントしました。

第4回

テーマ 「ものを大切にしよう！」

劇「ものを大切にしよう！」

鬼ごっこ玉入れゲーム（分別の復習）

最初と同じ分別劇（分別できるか確認）

歌と踊り（「ぴかぴか星」）

第4回目

・劇「ものを大切にしよう！」

壊れたロボット、まだ使える鉛筆や紙……。すぐに捨ててしまう子ども達の前に、まだ使えるのに捨てられた悲しい気持ちを、ゴミ達が泣きながら訴えます。ゴミを減らすことは、物を大切に使うことにつながります。私たちがこの学習を通して一番分かって欲しいことを、この劇を通して伝えました。

・鬼ごっこゴミ入れゲーム

リサイクル後の製品のお面を付けた高校生の腰には、ゴミ袋……。鬼ごっこ玉入れの要領で、追いかけながら分別します。みんな最初のころよりも、間違えずに分別できました。

・最後の分別ゲーム

園児達が、この4回の学習を通して、分別できるようになったかを確認するために、最初にアンパンマンの劇と同じ劇を行ってから分別してもらいました。

・歌と踊り

楽しかった交流の日々を思いながら、最後に「ぴかぴか星」を歌って踊ります。幼稚園の皆さんと、高校生の大合唱でした。

